

2023年3月2日

福井県知事 杉本 達治様

福祉灯油の実施等に関する要請書

反貧困連絡会

代表委員 鈴木 孝典

日頃より住民のいのちと暮らしを守るためご尽力いただいていることに敬意を表します。

さて、福井県に住む私たちにとって暖房は不可欠であり、「灯油」はその主力エネルギーとして欠かすことができない生活必需品です。近年はその価格が特に需要期で高騰しています。資源エネルギー庁石油製品価格調査では、2022年11月21日の福井県内の灯油価格は、店頭価格、配達価格ともに昨年同時期より1Lあたり2円近く高い110.4円（店頭）、119.6円（配達）となっており、県民生活に重い負担となっています。

価格高騰の主な原因は、この間に急激にすすんだ円高と、コロナ収束予想による経済の活性化への世界的な期待感による原油価格の高騰によるもので、当面の間は高値で推移すると想定されています。コロナ禍による経済活動への影響が長引き、家計も厳しさを増している中で、灯油をはじめとした石油製品価格の負担増は、ただでさえ苦しい家計を直撃し、地域経済にも影響を与えます。

10月14日に内閣府が公表した家計可処分所得四半期別速報によれば、2022年4-6月期は前年同期比マイナス8.6%と大きく落ち込んだ前年4-6月期に対して0.4ポイントの改善にとどまっています。食料品などの価格も高騰するなか、可処分所得が大きく落ち込む中での灯油価格の高騰は、年金生活者または低所得者はもとより、県民生活への大きな影響が想定されます。安心して冬を過ごせるよう、高齢者・母子・障がい者等の社会的弱者や、生活困難者に対する支援はこれまで以上に必要です。福祉灯油等暖房費援助の実施など、県として市町等を通じた暮らしを守る支援策の強化に努めていただくことを期待します。

すでに本格的な需要期は過ぎましたが、くらしや地域経済に影響を及ぼす灯油の安定的な供給と適正な価格による供給の確保のための施策を求めるものです。つきましては、県が以下の対策を実施するように要請いたします。

記

- ① 生活困窮者、母子家庭、障がい者に対して、福井県として福祉灯油を実施すること。
- ② 医療・介護・保育・障がい者等の施設に対して燃料代の助成をおこなうこと。
- ③ 中小零細業者に対して燃料代の助成をおこなうこと。

以上

連絡先 反貧困連絡会

住所 910-0026 福井市光陽3-4-18 民医連ビル

TEL (0776) 27-6648

FAX (0776) 25-6793

担当 錦織 (090-3769-6231)

2023年2月〇〇日

自治体首長 殿

反貧困連絡会
代表委員 鈴木 孝典
福井市光陽3-4-18

要望書の送付について

自治体行政の推進に日夜ご尽力されていることに敬意を表します。

さて、私ども反貧困連絡会では、社会保障制度の改善をめざし運動をすすめておりますが、この間の一連の生活保護「不正受給」報道により、生活保護受給者全体が「不正受給」者であるかのような印象が社会に蔓延することによって、生活保護制度の充実よりも生活保護費削減の政策が優先されかねない危惧を感じています。

つきましては、生活保護制度の充実をめざして、『不正受給』を口実とした生活保護制度の縮小キャンペーンに乗らず、生活保護制度をセーフティーネットとして活用することを求める要望書」をお送りさせていただきました。

この要請に基づき、貴自治体と協議のうえ訪問して要請・懇談したいと考えております。

大変お忙しいところとは思いますが、生活保護制度充実のため、ぜひともご協力いただくようお願いいたします。

なお要請する日時につきましては、担当者よりご相談させていただきます。

以上

問合せ先 反貧困連絡会（担当・錦織） 電話 0776-27-6648（福井民医連内）